



令和6年10月28日発行

学校だより

第8号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

～あつという間に2学期も半分が過ぎました～

校長 小澤 託

10月16日(水)に総合文化センターで行われた合唱コンクール。

一昔前、いつだったかは定かではありませんが…、当時の首相が大相撲で優勝決定戦の末に優勝した力士に賜杯を渡した際に発した言葉、「感動した!」。まさにそういう気持ちでした。

全体のトップバッターである1年生が元気でさわやかな歌声で会場を一気にコンクールモードにもっていき、各クラスで円陣を組んで気合を入れ、歌う前の入退場から歌う姿まで完璧で流れるような動きと真剣な眼差し、そして、迫力ある声量と男性・女性の特性を生かした声が織りなす美しいハーモニーで観客を魅了した2年生。

午後からの登場となった3年生のステージ上の姿は、まさにクラスの団結とプライドが光り輝き、1・2年生の最高のお手本になりました。壇上に立って、指揮者のタクトに合わせて歌い出す一体感と幾度となく練習し磨き上げた各パートのぶれない音程、そして、その音が合わさった時に伝わる心地よい響き。パーフェクトでした。まさに「感動した!」です。こういう時は、素直に本心が言葉に出るものです。“3年生のみなさん、ありがとう!!” やればできる3年生の姿を頼もしく思いながら、ここからはそれぞれの勝負(進路実現に向けて)だぞ、という意味も込めて、“頑張れ!!”とエールを送ります。

さて、21日(月)から25日(金)まで、3年生はその進路(受験)に関わっての三者面談が行われ、22日(火)から24日(木)まで、2年生はチャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)が行われました。どちらも、生徒にとっては将来を考える(考えさせられる)貴重な時間だったはずです。特に3年生にとっては、正念場。

その自らの進路を切り拓き、幸せに向かうために、今からでもできることをある本からの抜粋という形で紹介します。

～幸せを呼ぶ十か条～

- 1 いつもいいことを口にする
- 2 悪口、陰口を言わない
- 3 どんな時も笑顔を忘れない
- 4 自分から先に挨拶する
- 5 相手の話到最后まで耳を傾ける
- 6 自分と他人を比較しない
- 7 相手の短所ではなく長所をみるようにする
- 8 何が起きても「これで良かった!」
- 9 たくさん鏡を見て自分を好きになる
- 10 「すみません」より「ありがとう」

全てをクリアできるように毎日を過ごそう、と思うと、それが逆に負担になったりするものです。

あくまでも紹介という形で載せていますので、「この中の、1から4は心がけてみよう」と一歩踏み出してみるのはいかがでしょうか。

何をもって幸せというのか、は人それぞれですが、幸せに向かおうとすることは、素敵なことだと私は思います…。

【読むこと・書くこと】

江戸時代の庶民の子どもが読み書きやそろばんの初歩を学ぶところと言えば、みなさん分かりますよね。“寺子屋”です

その寺子屋に通う子どもたちは、初歩とはいえ、読み・書き・算（そろばん）を繰り返し行い、基本的な知識を習得していった、と言われております。

江戸時代と現在を比較することはできませんが、タブレットなどの電子機器を使用した読書と紙の本を使用した読書では、読解力に違いが出てくると発表した研究チームがあります。理由は、タブレットなどの電子機器が発するブルーライトによって脳が緊張状態を作っているため…とのこと。また、授業などでタッチペンなどを活用する場面が増え、筆圧の弱い字を書く生徒が増えてきたとよく耳にします。

より高度で高速化したデジタルな社会を生きていく生徒たちが、様々な電子機器を活用できるようになるのは大切なことだと思います。しかし、活字離れが叫ばれる昨今、本を手にとって読書にいそしんでみたり、丁寧な字でノートや課題の個人新聞を書いたり、難しい問題にあえて電子機器を使わず取り組んでみたりするのはいかがでしょうか。

読み・書き・算にこだわる“秋”なんていうのはいかがでしょう…

生徒の活躍

★税についての作文

江戸川北納税貯蓄組合連合会優秀賞

3年

3年

【ご用心ください！季節の変わり目】

大分、朝晩に寒さを感じる日が多くなってきました。

空気も乾燥してくる季節となり、同時に、風邪やインフルエンザ等が流行する時季になります。

基本的なことですが、うがい・手洗いの励行を徹底ください。また、換気も重要です。

自身でできる予防を積極的に進めて、健康の維持を心がけましょう。

【江戸川区からのお願い】

区のこれからのサービスや負担の在り方について考えるアンケートを実施しています。10月下旬に広報えどがわ特別号を全戸配布しておりますので、ご確認いただき、江戸川区の将来に向けてぜひご回答ください。



↑詳細はこちら